

### 環境調査結果のお知らせ

令和7年9月3日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で270 cells/mL、シャットネラ属が最高で94 cells/mL、タカヤマ属が20 cells/mL確認されました。シャットネラ属は、明日（9月4日）以降、再び警戒基準値（100 cells/mL以上）を超えて赤潮を形成するおそれがありますので、十分注意してください。

すべての定点において表層から2m層水温が約30°C以上となっており、特に表層では31°Cに達する定点もみられました。海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	カレニア・ パピリオナセア	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
A 鳴無 (3m) 【10:07】	0	31.0	31.4	7.2	0	0	0	-
	2	30.7	31.5	7.0	0	0	0	-
	3	29.9	31.7	7.3	0	94	0	-
	5	29.2	32.0	3.9	0	17	0	-
	底層 8	28.7	32.1	0.1	0	4	20	-
B 中学校前 (3m) 【10:16】	0	31.1	31.3	7.1	0	0	0	19,700
	2	31.0	31.5	7.2	0	0	0	21,900
	5	29.6	32.1	6.1	0	4	0	12,700
	10	29.1	32.4	3.5	0	0	0	2,400
	底層 11	28.8	32.3	2.4	0	0	0	680
C 目ノクソ (3.5m) 【10:25】	0	31.2	31.5	7.2	0	0	0	-
	2	31.0	31.6	7.2	0	0	0	-
	5	29.9	32.2	7.6	1	4	0	-
	10	29.4	32.5	4.5	2	0	0	-
	底層 14.5	29.0	32.6	1.8	0	0	0	-
D 光松 (3.5m) 【11:10】	0	31.2	31.5	7.2	0	0	0	18,500
	2	31.0	31.8	7.3	0	0	0	18,900
	5	29.9	32.3	9.1	32	0	0	8,600
	10	29.4	32.6	4.9	1	0	0	1,250
	底層 16	29.2	32.7	3.6	0	0	0	40
E 福良 (2.5m) 【11:02】	0	31.1	31.4	8.0	1	0	0	-
	2	30.9	31.7	8.2	2	0	0	-
	5	29.5	32.2	3.8	270	3	0	-
	底層 10	29.2	32.5	2.4	30	0	0	-
F 大鹿 (3.5m) 【11:21】	0	31.3	31.6	7.2	0	0	0	-
	2	30.7	32.1	7.7	5	0	0	-
	5	29.9	32.4	7.6	250	0	0	-
	10	29.5	32.6	5.2	0	0	0	-
	底層 15.5	29.1	32.7	3.9	0	0	0	-

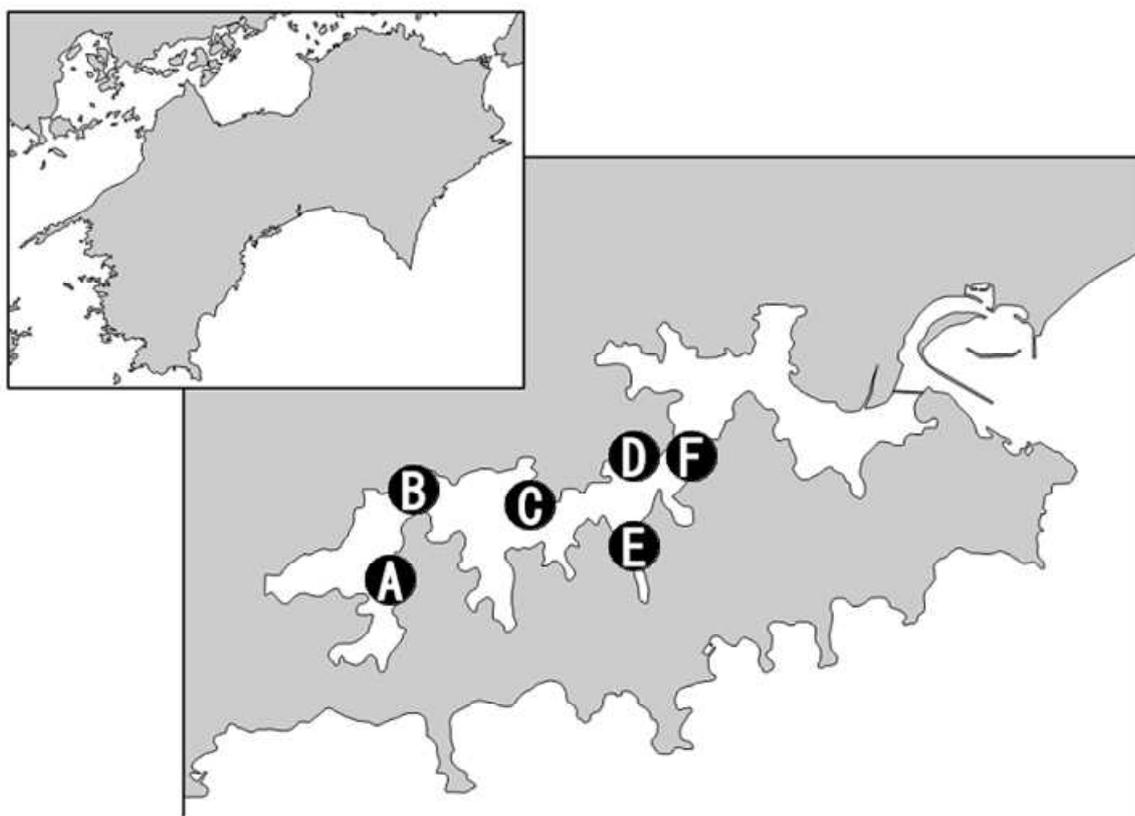
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 福良
- F: 大鹿